２０２３年8月（第８７号）

D E S I G N

～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

令和５年度診療科案内が完成しました

～ ご入用の方はご連絡下さい ～

令和５年度の診療科案内が完成しました。地域の皆様にはご郵送にてお届けしていますが、複数部、ご入用の方は、地域医療連携室までご連絡お願い致します（０７７４－７２－０２３５（代表））。なお、ＱＲコードでも閲覧可能ですので、ご覧下さい。

地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第５８回）

～ ほぼ在宅、ときどき入院 ～

８０歳代女性、息子さんと２人暮らしをされていた患者さんです。食事摂取量が低下し、水分摂取もままならず衰弱してきたため救急要請され、状態の回復と、今後の療養体制の調整を目的に地域包括ケア病棟“彩り”に入院となられました。

入院前から介助が必要な状態でご家族が介護してこられましたが、今回の病状悪化を契機として食事介助、喀痰吸引が必要となりました。今後の退院先について相談したところ、ご家族は自宅で介護してあげたいと強い思いをお持ちでしたので、自宅退院に向けて準備を進めました。

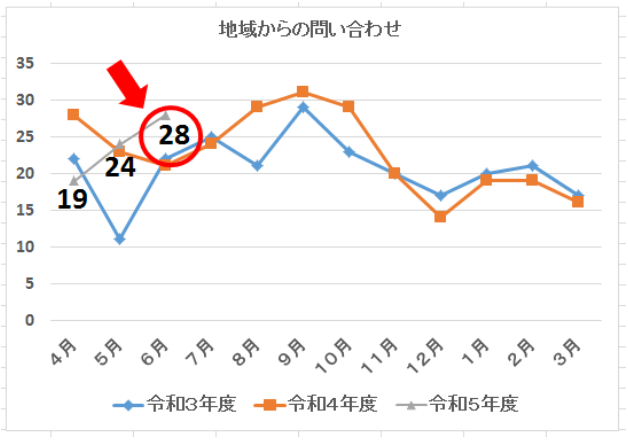
看護師による吸引指導、言語聴覚士による食事介助指導、管理栄養士による食形態の指導をおこない、かかりつけ医に訪問診療を依頼。訪問看護ステーションに訪問を依頼し、自宅でも点滴で食事量の低下を補えるように調整しました。状態悪化時には当院への再入院も可能であることを確認し、自宅看取りも視野に自宅退院となりました。

地域包括ケア病棟では、自宅療養が困難となった患者さんの介護体制の立て直しを目的とした入院も可能です。“ほぼ在宅、時々入院”を実現できるよう、早めにご相談をいただき、自宅生活の継続を目的に地域包括ケア病棟“彩り”をご利用いただけたらと思います。

（地域医療連携室 係長 中嶋　庸介）

令和５年６月の問い合わせ状況について

～ お問合せをお待ちしています ～



６月は、２８件のお問合せを頂戴しました。ありがとうございます。引き続き、地域の皆様の夏期休暇中の受け入れも可能ですので、お気軽にお問合せ下さい。

０７７４－７３－１８１８
（担当：松田・中嶋）

地域医療連携室より

～ 令和５年度第１回地域医療支援病院運営委員会を開催しました ～

令和５年７月６日（木）、令和５年度第１回地域医療支援病院運営委員会を開催しました。この委員会は地域医療支援病院に開催が義務付けられていて、相楽医師会や山城歯科医師会、相楽薬剤師会や行政機関などの代表の方々にご出席頂いています。コロナ以降は、開催形式を対面からオンラインに変更し、開催を継続していましたが、コロナの感染状況に伴い、急遽開催を中止せざるを得ないこともあり、委員の皆様にはご迷惑をおかけすることもありました。

今回は、３年振りに対面で開催させて頂きました。当院岩本院長による開会の挨拶の後、地域医療連携室の中嶋係長より、地域医療支援病院の業務報告として紹介率や逆紹介率、救急患者受け入れ件数などの報告をさせて頂きました。そして、リハビリテーション科の田井課長より、令和５年４月に開設した回復期リハビリテーション病棟の現状報告をさせて頂きました。委員の皆様からは、この地域に積極的にリハビリテーションが行える病棟ができて心強い、との声も頂戴しました。回復期リハビリテーション病棟の現状報告のあとは、委員の皆様から当院へのご意見やご要望を伺いました。貴重なご意見・ご要望を頂戴しましたので、今後の病院運営に活かしてまいりたいと思います。

委員会の中で、南山城村の下村保健師から、対面は（オンラインよりも）意見が出やすいので良いですとのお言葉を頂戴し、また、委員会終了後にも個々に意見交換されている様子を拝見し、改めて、対面開催の“良さ”を実感することができました。

（地域医療連携室 室長 南出　弦）